

ブロックハウス&テイクアウトカフェ

敷地の概要

敷地は文京区本郷にある小さな商店街、本郷大横町通り商店街の中にあります。その一角に店舗併用住宅を計画する課題です。

この場所はかつて、旅館業、印刷業、医療機器業で栄えた街でした。都市計画の変更により、高層マンションが立ち並ぶ街並みに変わっていききました。その移り変わりの中で商店街は、昔ながらの看板建築と、新しい中高層ビルが同居する独特な街並みを形成しています。かつては賑わいのあった商店街も、今では人通りが少なく寂れた印象を受けています。商店街の現状を踏まえて、商店街を再生できるような提案を考えます。

敷地調査を行って

敷地調査を行って分かったことは、都心部あるのに静かな場所だったことです。人と周りのお店の少なさからあまり賑わっていない環境にある敷地だと感じました。地図を見てみると近くには中学校と大学、丸の内線の駅があることから、商店街を利用する人も少なくないと思っています。

周辺地図

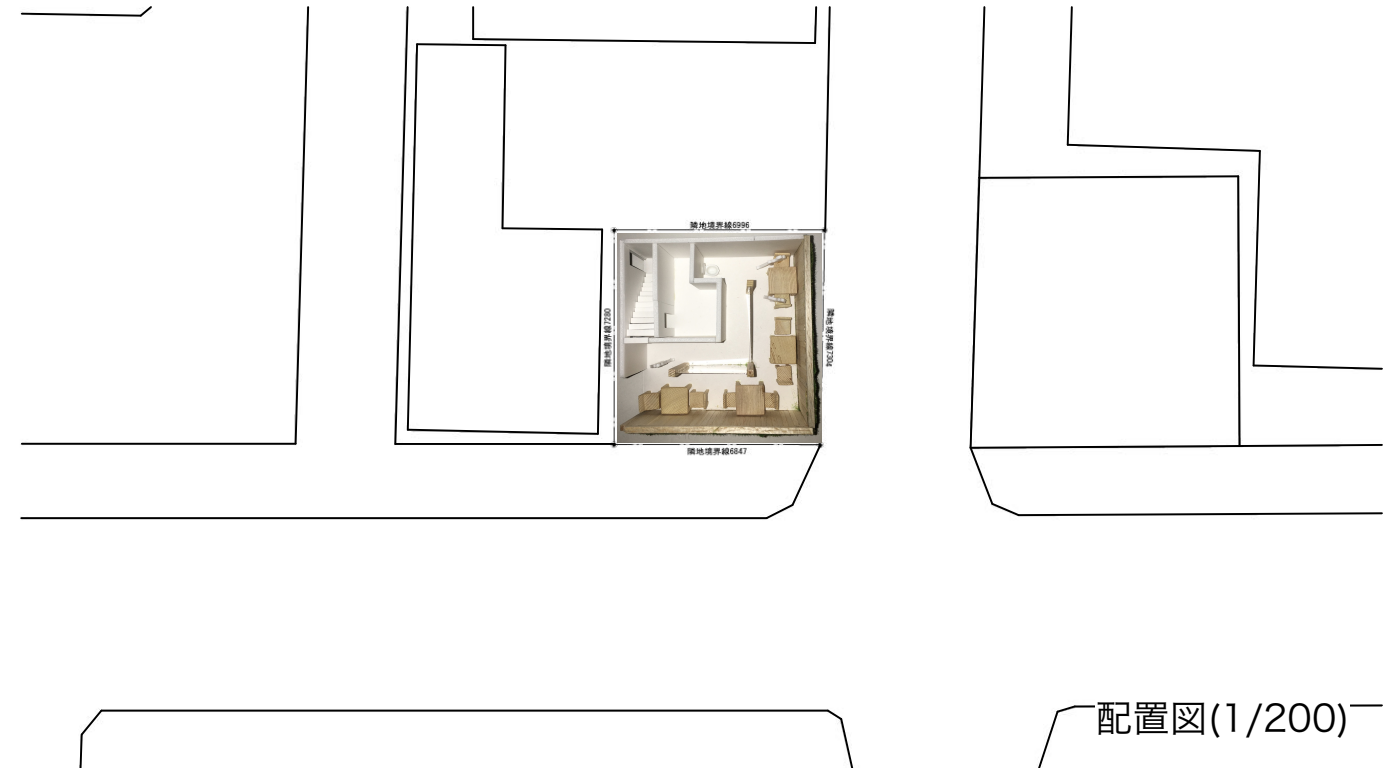


文京区本郷2丁目 28-7

敷地前の商店街



敷地



配置図(1/200)



それぞれの方角から見た立面

南側



東側



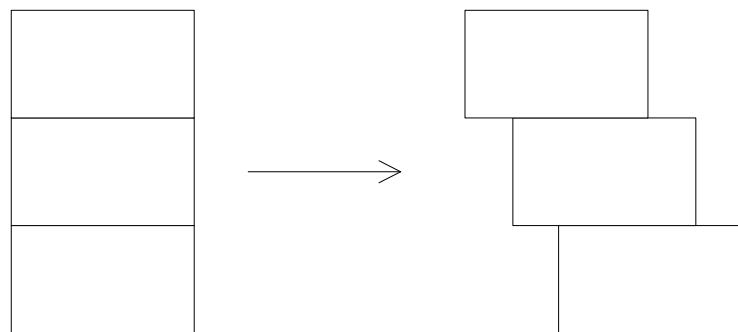
北側



西側

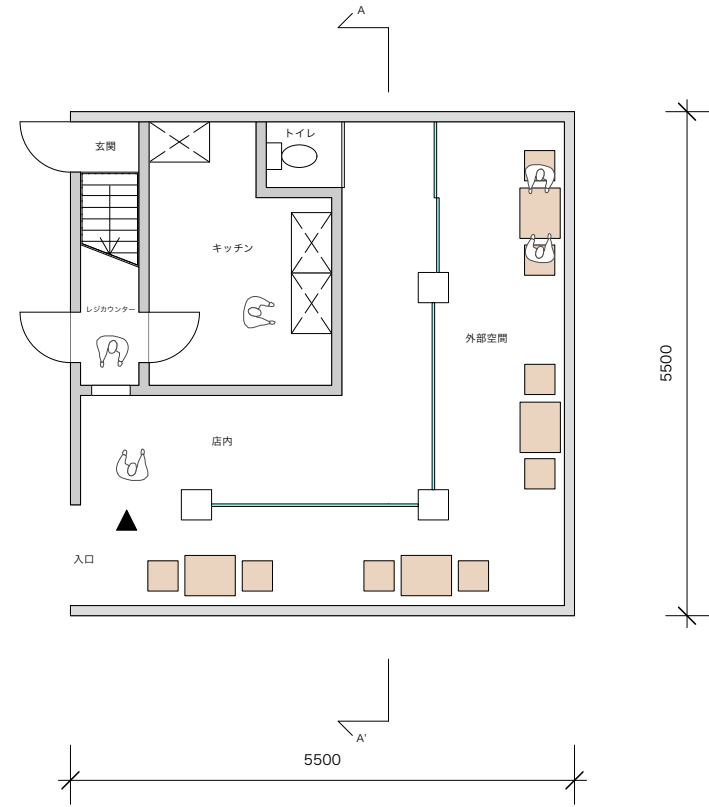


ダイアグラム

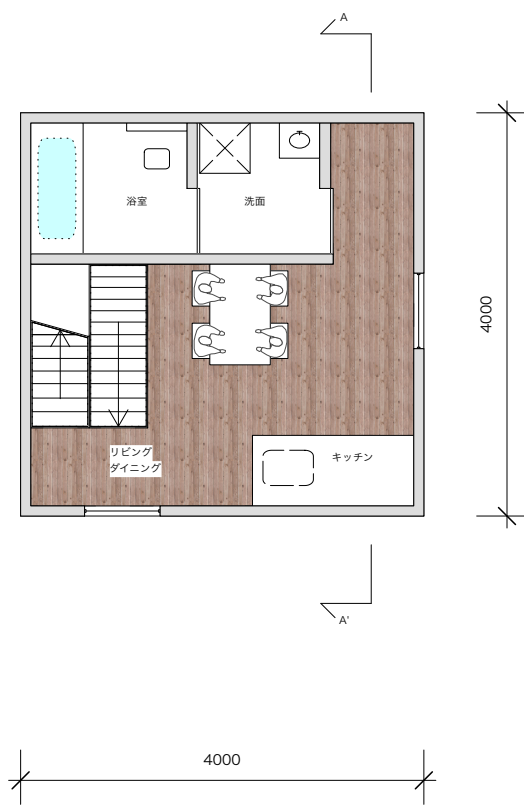


賑わいを取り戻すためには、街並みから逸れた建物があると人が集まるのではないかと考えました。道行く人から注目されることをコンセプトに、1つ1つずらしたブロック状の建物にしました。

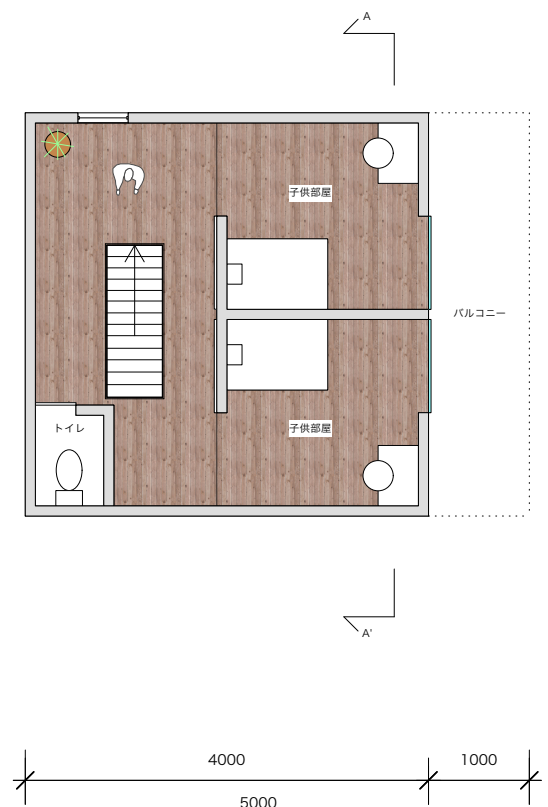
1階平面図(1/100)



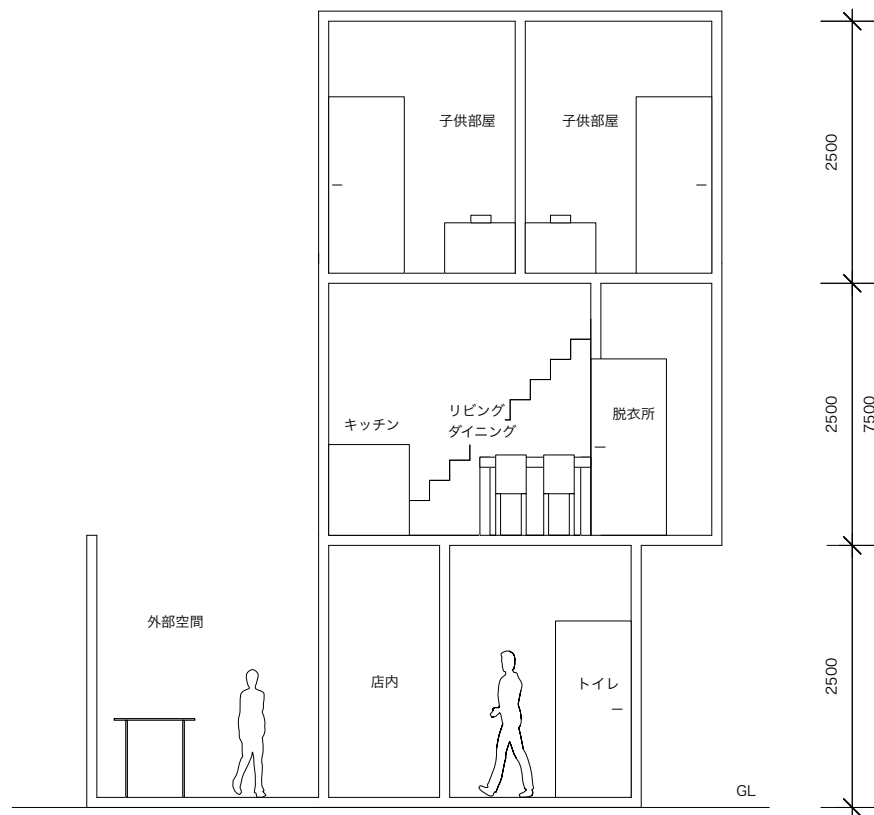
2階平面図(1/100)



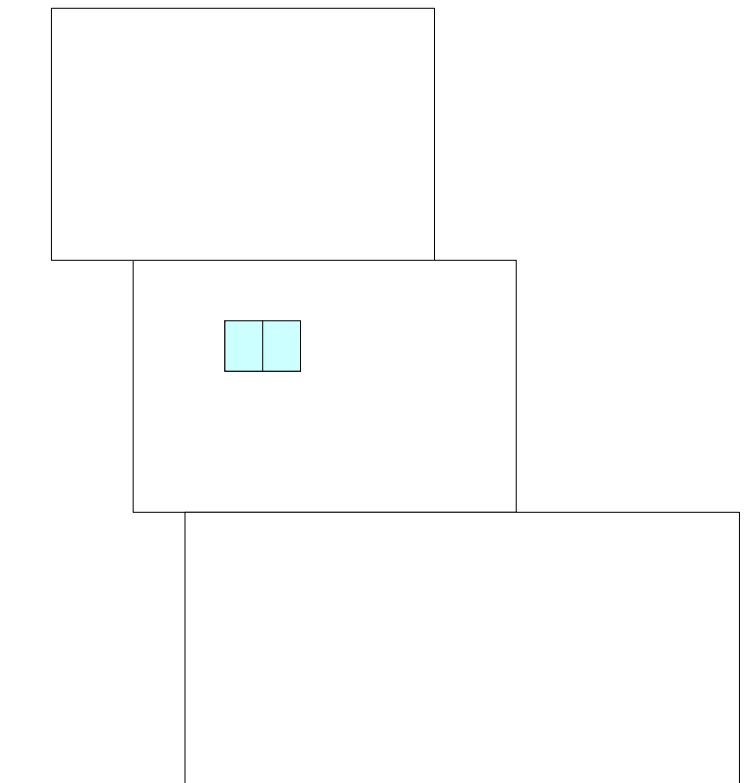
3階平面図(1/100)



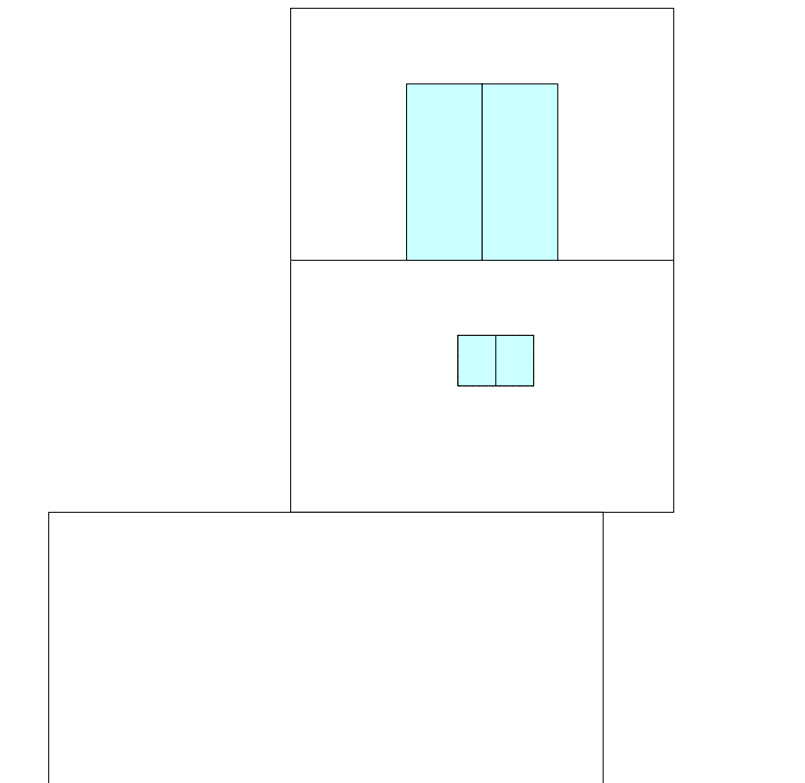
A-A'断面図(1/100)



立面図 南側(1/100)



立面図 東側(1/100)





1階はテイクアウトカフェになっている。グリーンウォールがあるので、周りからの視線を遮ることが出来る。



2階リビングは家族皆で過ごす空間で、仕事が終わると2階へ上がって休める空間。



外部空間で飲食できるスペースになっている。



3階には個室があり、趣味の時間に使える。



東側から朝日を取り込んで気持ちの良い朝を迎えることができる。